

2020年9月1日

文化庁委託「日本語教育人材の研修プログラム普及事業 児童生徒【初任】」
公益社団法人日本語教育学会
「子どものための日本語教育研修ー子ども初任コース／講師育成コース」

受講者募集 (第一次案内)

I 本研修について

1. 趣旨・目的

公益社団法人日本語教育学会は、2020年度文化庁事業「日本語教育人材の研修プログラム普及事業」を受託し、外国人児童生徒等に対する日本語教師初任研修（以下、子ども初任コース）、及び研修担当講師の育成研修（以下、講師育成コース）を実施いたします。「子ども初任コース」では、文化庁（2019）「児童生徒に対する日本語教師【初任】に求められる資質・能力」及び「研修における教育内容」に基づき、基礎的な内容を提供します。その目的は、外国人児童生徒等の背景や言語・学習環境、各地の受入れ・指導体制を理解して、キャリア支援や社会参加という視点をもって子どもたちの生活・学習に関連付けて日本語を教えられ、マイノリティである子どもたちのエスニシティやアイデンティティを考慮した教育・支援を行うことができる人材を育成することです。一方、「講師育成コース」では、文化庁（2019）に示される「日本語教育コーディネータ／主任教員」の資質・能力に準じて、児童生徒対象の日本語教育に携わる初任教師の研修を企画し、講師として研修を運営できる人材の育成を目的とします。この二つのコースを、4つの地域（北海道・東北ブロック、南関東ブロック、東海ブロック、九州・沖縄ブロック）で実施します。本学会は本事業で、児童生徒の教育・支援を行う初任日本語教師と、その研修を担う講師人材の育成を通じて、各地域の日本語教育・支援活動に貢献することを目指します。

なお、本研修は遠隔での実施が基本となります。

2 研修の実施期間

令和2（2020）年10月3日（土）～令和3（2021）年2月14日（日）

ただし、各地域ブロックによって、開始日時と終了日時には違いがあります。詳細は、第二次案内（9月15日公示予定）を参照してください。

3 実施方法とスケジュール（目安）

(1) 実施方法

4 地域（ブロック）での実施

次の4地域で研修を実施します。応募時に地域を選択し、その地域の研修に参加します。

A. 北海道・東北ブロック、B. 南関東ブロック、C. 東海ブロック、D. 九州・沖縄ブロック

遠隔による研修の実施

基本的には遠隔での研修となります。「オンデマンドの学習」と「オンライン同時双方向の対面学習（Web会議システムのZoomを利用、以下「スクーリング」と呼ぶ）」を組み合わせた複合型の学習形態です。ただし、一部、直接対面学習（実習の一部）を実施する地域（ブロック）もあります。4

ブロックで、それぞれの地域の状況に応じて実習の内容・実施形態を決定します。詳細は、第二次案内をご覧ください。

6 クールに分けて実施

10月初旬から2月中旬までの4ヶ月余りの研修期間を、6クールに区分して実施します。各クールで、スクーリングが1度行われます。

(2) 各コースの実施内容とスケジュール

①子ども初任コース（60単位、講義・演習54単位＋実習6単位、1単位時間＝45分）

1) 講義・演習

1クールを9単位時間とし、オンデマンド学習（3単位）・課題の遂行（3単位）・スクーリング（＝オンライン同時双方向の対面学習）（3単位）で構成します。6クールで54単位となります。

- ・オンデマンド学習では、動画教材による講義（視聴）を行います（3単位時間）
- ・講義後、スクーリングの講師が指定する課題を遂行します（3単位時間）
- ・課題提出後、オンラインによる同時双方向のスクーリングで、課題の振り返りや、発展的学習を行います。（3単位時間）

2) 実習

各地域（ブロック）によって実施時期・内容・方法が異なりますが、合わせて6単位時間実施します。
 詳細は第二次案内でご確認ください。

＜子ども初任コースのスケジュール（目安）＞

クール	第1クール	第2クール	第3クール	第4クール	第5クール	第6クール
実施時期の目安	10月初～中旬	10月下旬～11月上旬	11月中旬	11月下旬～12月中旬	12月下旬～1月中旬	1月下旬～2月中旬
						

②講師育成コース

（60単位、講義18単位＋チューター活動18単位＋演習18単位＋子ども初任コースの実習への参加6単位 1単位時間＝45分）

1) 講義（18単位）

各クールでオンデマンド学習として動画教材による講義（視聴）を行います（3単位×6＝18単位）

2) チューター活動（18単位）

子ども初任コースのスクーリングにチューターとして参加します。（3単位時間）

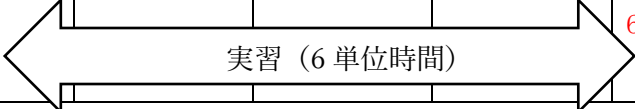
3) 演習（18単位）

講師育成コースの全体オリエンテーションとまとめ（5単位）と、地域毎の研修の企画運営に関する演習（13単位）を行います。

- ・オリエンテーションとまとめの演習は、全4地域ブロックの受講者全員でオンライン同時双方向の対面研修を実施します。
- ・地域毎の演習は、スクーリングの前後に、講師育成コースのコーディネータとチューター活動・初任研修の企画・運営に関する演習を行います。（各回2～3単位、合計13単位）

4) 子ども初任コースの実習への参加（6単位）

＜講師育成コースのスケジュール（目安）＞

クール	第1クール	第2クール	第3クール	第4クール	第5クール	第6クール
実施時期の目安	オリエンテーション(10月3日) 10月初～中旬	10月下旬～ 11月上旬	11月中旬	11月下旬～ 12月中旬	12月下旬～ 1月中旬	1月下旬～2月中旬 まとめ(2月6日)
 実習（6単位時間）						

4 研修内容

子ども初任コース・講師育成コースとも、児童生徒を対象とする日本語教育の基礎的内容に関する講義を受講します。受講方法は、オンデマンドによる動画教材の視聴です。次の表にそのシラバスを示します。

①子ども初任コース

講義内容に関する課題の提出が求められます。スクーリングでは、受講者が提出した課題をもとに話し合いを行い、各地域ブロックにおける子どもの日本語教育・支援の状況等に関し発展的に議論を行います。

＜子ども初任コース・講師育成コース 講義シラバス＞

	No. 科目	項目	動画本数
第1クール	1. 外国人児童生徒等の背景・現状・課題（6単位）	①外国人児童生徒等の現状と課題 ②外国人児童生徒等の社会的・文化的背景 ③外国人児童生徒等施策 ④地域の現状と課題（外国人集住地域・散在地域） ⑤学習権・不就学 ⑥多文化共生	2
	2. 外国人児童生徒等の支援体制とネットワーク（3/6単位）	⑦地方自治体の受け入れ体制 ⑧学校の教育体制 ⑨地域の支援体制	1

第2クール	2. 外国人児童生徒等の支援体制とネットワーク (3/6 単位)	⑩地域のリソースと社会的ネットワーク ⑪保護者との連携・協力 ⑫エスニック・コミュニティ	1
	3. 外国人児童生徒等の文化適応 (6 単位)	⑬自文化中心主義・文化相対主義 ⑭異文化適応 ⑮異文化間能力 ⑯文化間移動とアイデンティティ ⑰生育環境 ⑱社会化	2
第3クール	4. 外国人児童生徒の言語習得と認知発達 (6 単位)	⑲発達段階と言語習得 ⑳バイリンガリズム ㉑母語・継承語・第二言語 ㉒生活言語能力と学習言語能力 (特別支援のニーズを含む) ㉓リテラシーの発達 ㉔言語能力の測定 (筆記テスト、DLA 等)	2
	5. 外国人児童生徒等の日本語教育のコースデザイン (3/6 単位)	㉕コースデザイン ㉖「特別の教育課程」による日本語指導 ㉗評価の対象と方法	1
第4クール	5. 外国人児童生徒等の日本語教育のコースデザイン (3/6 単位)	㉘初期指導 (サバイバル日本語・日本語の基礎) ㉙中期指導 (技能別日本語) ㉚日本語と内容 (教科等) の統合学習 (JSL カリキュラム等)	1
	6. 外国人児童生徒等の日本語教育の方法と実際 (6/12 単位)	㉛事例分析 ㉜子どもの日本語教育の方法 1 (幼児・小学校低中学年の子ども対象) ㉝子どもの日本語教育の方法 2 (小学校高学年以上の子ども対象) ㉞教材・教具の活用 1 (体験型教材・教具) ㉟教材・教具の活用 2 (教科書等の活用・著作権) ㊱教材・教具の活用 3 (ICT)	2
第5クール	6. 外国人児童生徒等の日本語教育の方法と実際 (6/12 単位)	㊲子どものための音声指導 ㊳子どものための文字指導 ㊴子どものための文法指導 ㊵子どものための語彙指導 ㊶子どものための文章・談話指導 ㊷言語生活	2
	7. 社会参加のための日本語学習支援 (3/6 単位)	㊸キャリア教育 ㊹ロールモデル ㊺市民性教育	1

第 6 ク ー ル	7. 社会参加のための日本語学習支援 (3/6 単位)	④6 進路選択支援 1 (進学) ④7 進路選択支援 2 (就労) ④8 社会活動への参加支援	1
	8. 外国人児童生徒等のライフコースと日本語教師の成長 (6 単位)	④9 ライフコース 50 エンパワーメント 51 人権・社会的正義・公正さ	2
		52 実践の共有 53 対話と省察 54 専門家との連携・協力	

②講師育成コース

上記の講義 (動画教材) を視聴した後、子ども初任コースのスクーリングにチューターとして参加し、講師育成コーディネータのもとで以下の内容について学びます。

- (1) 日本語教育人材に対する研修の企画・立案
- (2) 日本語教育に関わる国及び地方公共団体の施策
- (3) 教育機関の運営に関する基礎知識
- (4) 在留外国人施策・入国管理制度・教育行政と地域における外国人の出身国の最新動向の把握
- (5) 日本語教育のプログラムデザイン
- (6) 事例研究
- (7) キャリア支援
- (8) 活動と広報

5 担当講師

< 講義担当講師 (動画教材) >

池上摩希子 (早稲田大学)・市瀬智紀 (宮城教育大学)・伊東祐郎 (国際教養大学)・内海由美子 (山形大学)・金田智子 (学習院大学)・川口直巳 (愛知教育大学)・河野俊之 (横浜国立大学)・齋藤ひろみ (東京学芸大学)・櫻井千穂 (広島大学)・菅原雅枝 (愛知教育大学)・武一美 (認定 NPO 法人多文化共生教育ネットワークかながわ)・田中祐輔 (東洋大学)・中川祐治 (福島大学)・中山あおい (大阪教育大学)・原瑞穂 (上越教育大学)・松本一子 (愛知淑徳大学)

< 子ども初任研修担当 >

コーディネータ：市瀬智紀・齋藤ひろみ・俵山雄司 (名古屋大学)・松永典子 (九州大学)

ファシリテータ (講師)：

北海道・東北ブロックー内海由美子・松岡洋子 (岩手大学)・菊池哲佳 (公益財団法人仙台観光国際協会／仙台多文化共生センター)・田所希衣子 (外国人の子ども・サポートの会)
 南関東ブロックー河野俊之・櫻井千穂・嶽肩志江 (横浜国立大学)・古川敦子 (津田塾大学)
 東海ブロックー川崎直子 (愛知産業短期大学)・菅原雅枝・藤川美穂 (岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室)

九州・沖縄ブロック－和泉元千春（奈良教育大学）・鴈野恵（筑紫女学園大学）・守山恵子（福岡女学院大学）・當房詠子（梅光学院大学）・池田尚登（福岡市日本語サポートセンター）

<講師育成コース担当>

コーディネータ：小河原義朗（東北大学）・池上摩希子・川口直巳・原瑞穂

Ⅱ 受講者の募集について

1. 募集人数

①子ども初任コース：120～140名

地域ブロック	北海道・東北 ブロック	南関東 ブロック	東海 ブロック	九州・沖縄ブ ロック
募集人数	25～30名	35～40名	35～40名	25～30名

②講師育成コース：15～20名程度

地域ブロック	北海道・東北 ブロック	南関東 ブロック	東海 ブロック	九州・沖縄 ブロック
募集人数	3～4名	5～6名	4～6名	3～4名

2. 応募資格と条件

(1) 応募資格

①子ども初任コース

- ・いわゆる「日本語教育の有資格者」で、児童生徒に対する日本語教育の経験が0～3年（初任）の者。または、これに準ずる者（詳しくはお問い合わせください。）
- ・当該地域の児童生徒の日本語教育に貢献する意欲がある者。

②講師育成コース

- ・「児童生徒に対する日本語教育の初任研修」の講師を務めるに当たって、相応しい専門性と経験を有する者。
- ・「児童生徒に対する日本語教育の初任研修」の講師等を勤める可能性があり、地域の日本語教育に貢献する意欲がある者。

(2) 応募条件

1) オンライン同時双方向対面研修に出席できること

①初任子どもコース受講者は、スクーリングに4回以上出席できること。

②講師育成コース受講者は、オリエンテーション（10月3日午前）とまとめ（2月6日午後）の回への出席と、6回のスクーリングに半分以上出席できること。

2) Web会議システム（Zoom）による研修への参加やクラウド上の情報交換ができる環境を整えられること。

3) 実施した課題の共有や、スクーリングでの意見交換に積極的に参加すること。

- 4) 母語、国籍は問いませんが、日本語でのグループでの作業や話し合い等に支障がない程度の日本語力を有すること。

3. 受講料

受講料は両コースとも、10,000円です。

遠隔による研修において、受講する上で必要な環境の整備・通信費などは各自のご負担となります。また、実習の一部を実地で行う地域ブロックもありますが、その場合の交通費や必要な文具類などについても自己負担となります。

なお、受講料の支払い方法等については、受講決定後に改めてご連絡します。

4 修了要件・修了証

それぞれのコースに関し、次の要件を満たした研修生に修了証を授与します。

①初任子どもコース

- ・研修に2/3以上参加していること。
- ・提出課題、及びスクーリングの活動において、目標を概ね達成できていること。
- ・実習（6単位）に参加して課題を提出していること。

②講師育成コース

- ・研修に80%以上参加していること。
- ・チューターとしての活動、及び演習における課題において、目標を概ね達成できていること。

5 応募方法

①子ども初任コース

募集期間：9月15日～30日

応募方法：第二次案内でお知らせします。

選考：定員を超えた場合、応募時の申請内容をもとに選考を実施する。

★選考終了後、eメールにて応募者に結果を通知する。

②講師育成コース

募集期間：9月1日～20日

応募方法：以下のGoogleフォームに必要事項を記入して、応募すること。

<https://forms.gle/VUL9BVjQTZbbhpzB9>

選考：応募締め切り後に、応募時の申請内容をもとに選考を行う。

★選考終了後、eメールにて応募者に結果を通知する。

なお、次の2回（Zoomによる同時双方向対面研修）に、出席することが求められます。

オリエンテーション：2020年10月3日（土）10:30-12:00

全体のまとめ：2021年2月6日（土）13:00-16:00

6 問い合わせ先

公益社団法人日本語教育学会 「子どものための日本語教育研修事務局」

〒101-0065 東京都千代田区西神田 2-4-1 東方学会新館 2F

E-mail: bunka-shonin@nkg.or.jp (担当：奥山)

※担当者が在宅勤務等で不在の場合がございますので、お問い合わせはメールでお送りくださいますようお願いいたします。お問い合わせの回答に少々お時間がかかる場合がございます。ご迷惑をおかけいたしますが、何卒よろしくお願いいたします。